2010-11年度 No.13

BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

Weekly Report

RI会長テーマ 地域を育み、大陸をつなぐ　クラブ会長テーマ 明るく、楽しく、元気に、奉仕・親睦

第2022回例会

日　　時：平成22年10月27日
会　　場：例会場
司　　会：SAA　五十嵐委員
開会点鐘　三田会長
斉　　唱 ロータリーソング「日も風も星も」
お客様の紹介　三田会長
白垣 好信 様（東京立川ＲＣ）
中野 陽一 様(地区米山奨学委員・東京たまがわRC)
柳　始賢　様（米山奨学生）

会長報告　三田会長

●多摩中グループ協議会開催のご案内
日　時　11月16日（火）　18時
場　所　三鷹「日本料理　大文字」
出席者　会長・幹事

●青少年交換委員会　オータムキャンプのご案内
日　時　11月6日（土）～7日(日)
場　所　国立オリンピック記念青少年総合ｾﾝﾀｰ
出席者　吉野青少年交換委員

●「塞の神どんど焼き」実行委員会のお知らせ
日　時　11月9日（火）　19時
場　所　谷保天満宮　社務所
出席者　遠藤(直)社会奉仕委員長

幹事報告　松本幹事

●11月のロータリーレートは1ドル82円です。

●例会変更のお知らせ
東京国立白うめロータリークラブ
12月20日（月）⇒夜間忘年家族例会に振替
12月27日（月）⇒ＲＩ規定休会

委員長報告

●吉野ロータリー情報委員長
クラブの定款・細則集を新しく発行しました。９月に一部変更があったためです。
本日、第１回目の長期計画検討委員会を開催しました。11/24に第２回の委員会を開催し、３月までに皆さんに報告を行い地区へ提出をする予定です。

●石塚新世代委員長
前年度の「中学生のポスター展」の作品が、30・31日に国立市芸術小ホールで行われる、小学生の作品展の模範作品として展示されます。時間のある方はご覧になってください。また、市内の小中学校では通年でポスターを掲示されています。

●岡本ＩＴ委員長
地区ＩＴ委員会より当地区のホームページには、配布されているガバナー月信の他にも多くの情報が掲載していますので、是非ご覧になって欲しいとの依頼がきています。クラブのホームページのリンクからも入ることができます。

ニコニコBOX　本間親睦活動委員長

●**白垣好信様**　東京立川ロータリークラブの白垣と申します。本日は、東京国立ロータリークラブ様へ初めてメークアップさせて頂きます。よろしくお願いします。

●**三田会長**　先日の環境フェスタ大勢の会員の参加ご苦労様でした。黄色のジャンバー目立っていましたね。また本日米山奨学生リュ シヒョンさん卓話楽しみにしておりました。

●**宗村会員**　米山奨学委員会の活動に敬意してニコニコ

R.I.第2750地区　多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ
会　長：三田　浩一　幹　事：松本　保夫
例　会　日：毎週水曜日　例会場：谷保天満宮社務所２階　東京都国立市谷保5209　TEL042-576-5123
事　務　所：東京都国立市中1-9-36　KKビル4F　TEL：042-575-0770　FAX：042-572-8666
E-mail：kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp　URL：http://www15.ocn.ne.jp/~kuni-rc
会報委員：岡本貞雄　佐藤勝則　大塚清一郎

●杉田会員　リュさんの卓話、楽しみに聞かせて頂きます。又、地区米山学友委員の中野様には大変ご苦労様です。

●遠藤常臣会員・石塚会員・喜連会員　柳始賢さん、日本はいかがですか。今日の卓話楽しみにしています。又、日韓親善のために大いに頑張って下さい。

●伊東会員　３年位前になるかと思いますが、日韓短期交流の事業で本部にてお目にかかりました米山学友委員の中野陽一様、ようこそおいでくださいました。その節はお世話になりました。リュ(柳)さんの卓話も楽しみにしております。

●北島会員　社会奉仕委員の皆様、環境フェスタご苦労様でした。私事ですが、明日から 11/2 までアートスクエア櫻文堂にてビスクドール展が行われます。私の妻の姉も出店しておりますので、是非皆様見に来ていただければ幸いです。

●社会奉仕委員会(遠藤直孝会員・小川会員・柴田会員・荘原会員・伊藤一彦会員)　先日の環境フェスタ国立には多くの会員にご参加をいただき長時間にわたり大変ご苦労様でした。皆様のご協力により大成功だったと思います。社会奉仕委員会一同より心から御礼申し上げます。

ニコニコ BOX　合計 22,000 円　累計 573,000 円

出席報告

稲村出席委員

１０月２７日　在籍 51 名中　出席 40 名
前々回（10 月 13 日）の 出席率 93.62%

閉会点鐘

三田会長

卓話

米山奨学生（一橋大学院生）

柳　始賢（リュ　シヒョン）

■私の留学生活　（日本語の学習）

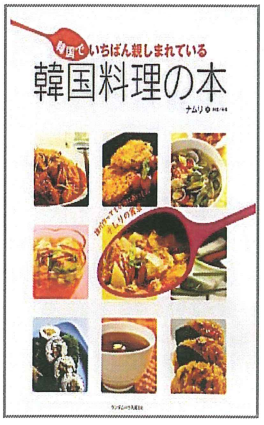
・2001 年 10 月 3 日来日　ひらがなのみ知って来日
　2001 年 10 月 - 2002 年 3 月まで日本語クラス
　おしゃべり好きな私と、日本語の上達の速度が合わない。当時の私の日本語のレベルでは、日本人の友たちができない。もどかしいし、寂しい日々。
・木村拓哉との出会い 2002 年「空から降る一億の星」でファンになり木村出演のドラマを完全鑑賞
・ドラマの内容把握(20 回以上)
・ドラマの中の木村役のセリフの暗記→日常会話で必ず活用
・相手のセリフ暗記→ストレス発散
・脇役のセリフ、主題歌の歌詞
・完璧に文法をマスターできなくても、自然とした会話ができる。
・楽しい時間を過ごしながら日本語の勉強も
・留学のストレス発散と、趣味として

■私が感動した日本の心

・どこでもトイレがきれい
・客に対するサービス精神（例：膝まずいての接待）
・国民の自発的な秩序、法の遵守
　(例：SMAP 5 万人のコンサート終了後)
・人へのおもいやり、親切さ
・商品に関する責任(日本製への信頼)
・職人精神(大工、ラーメン屋など)
・職業への差別無、専門性を活かす活動を重視

■韓国について

・韓国の伝統家屋(韓屋)　ハノク等
　韓国の伝統服(韓服、ハンボク)
　男性の韓服(パジ・チョゴリ)
　女性の服(チマ・チョゴリ)
　韓国の食べ物　宮中料理
・季節の料理　ソルナル（旧正月の元旦)
　トックク(スライス餅とスープ)・　テボルム等



柳さんが翻訳をした
「韓国家庭料理の本」
2010 年 2 月出版
武田ランダムハウスジャパン

第41回くにたち秋の市民まつり

＝ポリオ撲滅キャンペーン＆命の大切さを訴えるポスター展示＝

第2024回例会は、11月7日（日）に行われた「第41回くにたち秋の市民まつり」に参加し、展示ブースで開催された。

近年、当クラブでは奉仕活動の資金を得るための「いそべ焼き」や「雑煮」「ピタ」などを販売してきたが、今年度はクラブが現在取り組んでいる奉仕活動のキャンペーンを行うことになった。そして、今まで社会奉仕委員会が担当してきた事業を、特別委員会（市民まつり参加委員会・委員長・松本保夫、副委員長・山崎義晴）を組織して実行することになった。

そして今年度は「ポリオ撲滅キャンペーン」と「命の大切さを訴えるポスターの展示」を行った。クラブが例年販売活動をする場所にテントを張り、表側にポリオ撲滅の趣旨を掲示した大きなパネルを立て、2個の机を並べて会員がそこに座り、市民に説明をする。

テントの中にはポリオ撲滅キャンペーンのポスターが数枚と、命の大切さを訴えるポスター展での最優秀作品が数点掲示してある。

当日は朝から晴天に恵まれ、大学通りは歩道も車道も、歩行が困難なほどの人出があった。その中でポリオ撲滅に関心のある市民が立ち止まってパネルを見たり、中にはテントの中に入ってポスターを見るなど、地道な活動ではあるが、市民にアピールする成果はあったように思う。

9月に行われた環境フェスタのように、会員番号の偶数、奇数を午前と午後に分けてキャンペーンに参加してもらった。しかし、いそべ焼きなどの販売と違って、仕事がないので受付係りの2名を除いて、ほとんどの会員はテントの後ろで立ち話をしていたのが現状だった。

環境フェスタも同様、次年度は参加事業を見直し、効率のよい事業展開を考えるべきだと思った。それには次年度の組織分担が決まってからでは遅い。ＣＬＰの利点である事業の継続は、よりよい改革がなければ無意味である。

何の疑問もなく、毎年度社会奉仕事業を継続してきたが、今年度の環境フェスタと市民祭での事業展開を経験して、今後の社会奉仕活動のあり方を考えることができた。その意味では、大いに収穫があった奉仕活動であった。　（文・岡本　貞雄）

ポリオとは

ポリオ（polio）は英語の病名　acute anterior poliomyelitis（急性前角灰白髄炎）を省略したもの、polioはギリシャ語で灰色を意味するpoliosに由来し、脊髄の灰白質を指す。急性(acute)に灰白髄(poliomyel)の前角（anterior）部分が炎症（itis）を起こし、運動神経細胞が侵される。知覚神経は温存され、弛緩性の麻痺が特徴だ。小児期に発症するので、発育につれて麻痺が顕著となって、足の長さが違ったり、関節が脱臼したり、脊柱が曲がったり重度な肢体の機能障害が出る。

ポリオは、糞に混じったウイルスが口に入ることによって、感染が広がります。最初、発熱など風邪の様な感染症の症状が出ます。その後数パーセントの人の肢体に、麻痺が生じる。

ポリオウイルスの現在の常在国は、インド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの四カ国。日本では1960年に北海道を中心に大流行したが、ワクチンが普及した 80 年代を最後に野生株からの患者は出なくなった。

元会員

佐伯芳男さんを偲ぶ

今年の６月まで24年間在籍した佐伯芳男さんが、10月25日に逝去されました。享年67歳、早すぎる旅立ちに心が痛みます。

今年になって例会に顔を見せなくなったのが気がかりで、私は何度となく手紙を出そうと考えていました。しかし４月に退会届が出て、年度末の「退会の挨拶」もないまま、３月10日を最後に永遠に私たちの前から姿を消してしまいました。

佐伯さんは昭和61年１月８日、佐伯重介さんと共に入会しました。推薦者は小澤孝造さんと土方さんで、「皆さんの足を引っ張らないように頑張ります」と、入会の挨拶をされています。

クラブでは米山記念奨学生のカウンセラーとして、クラブとして今までにお世話した32名の米山記念奨学生のうち、７名ものカウンセラーをされました。

佐伯さんは単に「奨学金を渡す役割」だけにとどまらず、「日本のお父さん」として生活面のお世話まで気を配られ、留学生を自宅に招待して日本の生活を体験させるなど、実に細やかな配慮をなさいました。

ある夏の日、留学生の許命福さん（韓国・学芸大）と友人６名を、地元の盆踊りに招待したことがありました。半被を着て特別に櫓に登らせてもらい、踊ったり太鼓を叩いたり。もちろん留学生は大喜びで、彼女たちに、日本での最高の想い出をプレゼントしました。

▲1989年３月　グアム地区大会
元気いっぱいの佐伯芳男さん（前列左端）

そして、優しさだけではなく厳しい父親の一面もみせていました。プリヤンタ君（スリランカ・学芸大）が時間にルーズだということで叱りつけて、私がその仲を取り持たねばならなかったほどです。

近年、私と佐伯さんが交互にカウンセラーを務めてきましたが、私がお世話した任妍淑さん（韓国・一橋大）やサリーさん（英国・一橋大）たちについても、アパートの保証人を引き受けたり結婚式に出席していただいたりと、本当にお世話になりました。

佐伯さんの例会場の定席は、入って左側の列の内側中央の席です。その右側が宗村さん、左側が私で、私が会長を務めた１年を除き、数年にわたって席を決めていました。ある時、多摩信のK支店長が佐伯さんの隣に座ろうとしたところ「ここはダメ！」と一喝され、それが原因なのか、支店長はそれから例会に出席しなくなってしまいました。私は佐伯さんの行為に感謝をしながらも、支店長には転勤するまで申し訳なく思っておりました。

また、国立市消防団の団長を平成４年から２期８年にわたって務められ、クラブ内でも「団長！」と呼ばれていました。当クラブの30周年記念誌・会員のプロフィールでは、消防団半世紀の歴史に触れたあと、「生業を持つかたわら、火災をはじめとする様々な災害に対して、果敢に立ち向かう消防団員の姿は、まさに生命を賭けたボランティアです。団長として彼ら123名の団員と共に、生命と財産を守るため、災害現場で働けることが私の誇りです」と書いています。

佐伯さんは地元の出身なので、私よりも長く深いお付き合いの方々が多いと思いますが、クラブで親しくしていただいたよしみで追悼文を書かせていただきました。週報の限られた紙面では収まらないほど、佐伯さんの思い出が甦ってきます。書き残したことは、私がそちらへ行った折にお話しします。それまで、佐伯さんの左側の席は空けておいてください。（合掌）

岡本　貞雄